



東部登米教育事務所管内

このアンケートには 25 人が回答している。

コード数が多いカテゴリーは、【養護教諭の災害時の実践力を培う】と【校内体制】であった。

〔最良の判断ができる知恵と知識と経験を積んでおきたい〕など、もし自分が避難所対応をする場合について真剣に考えている様子がうかがえた。サブカテゴリーの中では、＜備蓄倉庫に備えたいもの＞に多くのコードが集まり、〔生活用品・食料〕、〔寝具・毛布〕など避難所経営で不足していたものが上がっていた。また、＜地域ぐるみの準備＞のサブカテゴリーにもコードが多く、〔行政との連携〕〔地域との信頼関係を大切にしていくこと〕など、震災を乗り越えるには、学校だけではなく広く連携することが必要であることが述べられている。

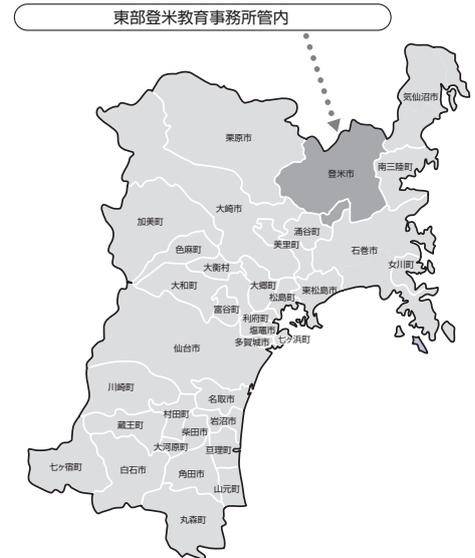


表 東部登米教育事務所管内(東日本大震災を経て今後役にたいこと) (25人回答 コード数計43)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔被災地の養護教諭の行動を役立てたい〕〔物品がないときの救急対応の対処法〕〔災害時の対応の心構え等〕〔避難所になった場合の関わり方〕	4
	実働に向けた準備	〔最良の判断ができる知恵と知識と経験を積んでおきたい〕	1
	知識やスキルの研修	〔震災時の心のケア研修〕〔カウンセリング〕〔ボディマッサージ〕	3
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔実際の避難所での支援の様子を知りたい〕〔災害時の備蓄必要物品を教えてほしい〕	2
	養護教諭の支援体制		0
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持		0
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	〔使いやすいような保管〕	1
	備品の整理・補充	〔医薬品の備え〕〔寝袋は児童数 + a の常備必要と痛感〕〔薬品は普段の購入分では足りない〕〔今後にしっかり備えを〕〔備品の見直し〕	8
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	〔児童生徒の安全確保〕〔災害時の下校体制の検討〕〔応急手当・救急搬送などの体制づくりの必要性を感じる〕	4
	心のケア	〔現実をしっかりとらえて前向きにケアしていく〕〔転入生のケアに十分気を付ける〕〔長期的支援が必要〕〔日頃から児童生徒の様子を細やかに見ていきたい〕	4
	避難所対応の準備	〔学校が避難所になった場合の対応を考える必要あり〕	1

校内体制の整備	備蓄倉庫に備えたいもの	[生活用品・食糧][水][電池][消毒液][寝具・毛布][食品][防災用品][想定外にならないように準備]	8
	職員体制	[長期にわたる教育復興による疲労蓄積(肉体的・精神的)に対する健康管理と心のケア]	1
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル		0
	地域ぐるみの準備	[行政との連携][被害の大きいところを支援するネットワーク、協力体制の確立が必要][地域との信頼関係を大切にしていくこと][地域ボランティアのおかげで制服や運動着を頂くことができた][ネットワークづくりを早期に実施]	6
	異動		0
	その他		0
その他	その他		0

〈担当:花渕〉



七夕飾り制作2 和紙を数える

東部教育事務所管内

災害に対して、日頃の備えや準備が必要なことはもちろん、養護教諭として【災害時の実践力を養う】カテゴリーに18のコードが挙げられた。〔保護者が迎えに来られるとき、そうでないとき〕〔医療チームがいるとき、いないとき〕など、いろいろな場面で、養護教諭の役割を明確にしておくことが必要である。看護師・保健師の資格の有無にかかわらず、学校が避難所になった場合には、同等の役割が求められることがわかった。〔病気やけがの対応〕〔医療について〕、学んでおくことが必要である。

いざという時のために支援体制を考え、救護所の運営には、〔医療職、介護職の人材に協力を求める〕、日頃から〔養護教諭同士のつながりや連携を大切にしておく〕事があげられている。

保健室での備えとしては、物品や備品の〔定期的な確認〕を行い、停電に対応できるようにしておく。〔大きな物の転倒防止策〕〔戸棚に鍵をかける〕など、揺れに耐えられる方法をとっておくようにする。

校内体制としても「避難所対応の準備」をしておくことが必要である。避難所指定になっていれば、〔医薬品・食料・毛布〕など必要最低限の準備がなされるべきであり、避難所に指定されていなくても、避難してくる人がいることを想定した備えがある。学校の職員は、〔避難者の病院搬送や急病人の世話〕をしなければならなかったことから、〔日頃からの危機管理意識を強く持つ〕必要がある。地域での防災対策には、学校も共同で関わり、〔地区の備蓄倉庫〕の把握や、災害時の〔学校への物資提供〕〔避難所の確保・確認〕などを話し合っておきたい。記述欄の最後には、〔大変だが、子どもたちとがんばる〕といったことや、各地からの支援に対する感謝の気持ちがつづられていた。

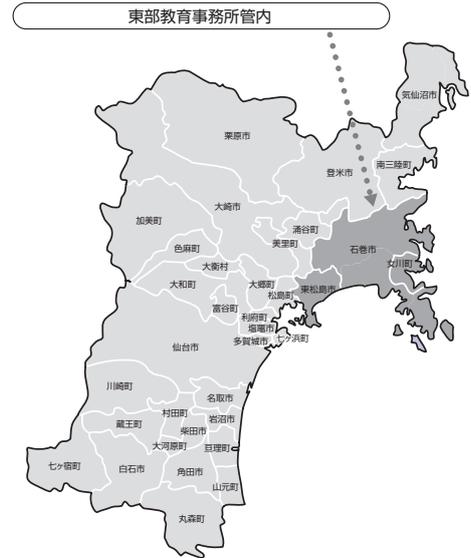


表 東部教育事務所管内(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと)

(30人回答 コード数計55)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔保護者が迎えに来られないときの役割〕〔救急隊がいるときいないとき、避難者への対応、引き継ぎ、トイレの設営、水飲み場、衛生管理などをまとめておく〕〔災害時に要求されることは何かを考えておく〕〔看護師・保健師の資格や同等の資質が必要〕	5
	実働に向けた準備	〔避難所運営と児童の保健管理の両立〕〔避難するときに何を持ち出すか準備しておく〕〔日頃から準備や訓練を行っておく〕	3
	知識やスキルの研修	〔病気やけがの重症者が多く、迷うことが多かった〕〔停電や筆記用具がないため記録がとれなかった〕〔医療について学んでおく〕	4
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔震災発生から今までの取り組みをまとめる〕	1
	養護教諭の支援体制	〔医療班が来るまで救護所の運営が必要〕〔保健室物品を提供した後の補充〕〔養護教諭同士のつながりや連携を大切に〕〔看護師や介護士など避難所にいる人の中にも協力要請をする〕	5
	その他	〔B型肝炎の予防接種をしておくこと〕	1
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持		0

災害時に保健室の機能を最大限生かす	誰でも分かるように配置・備品の明確化	[避難所になったとき、けが人や傷病者への対応ができるように]	1
	備品の整理・補充	[定期的を確認しておく][消毒薬や対応用品は学級や学年ごとに点々と置いておく][支援物資はありがたかったが、余ったり置き場所に困るものもあった][停電や筆記用具がないため記録がとれなかった]	4
	保健室の耐震	[大きな物の転倒防止策][戸棚にかぎ]	2
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	[避難と子どもの安全な引き渡しを考慮][重要な物は2階へ][指定避難所なのに備蓄がなかった]	3
	心のケア	[子どもたちが安心して過ごせる環境が必要][プライバシーを確保できる部屋が必要][早く普通の生活に近い学校生活を取り戻せるように]	3
	避難所対応の準備	[避難所に指定されていなくても避難者が来た][避難所になったときの対応マニュアルやシミュレーションをしておく][避難所運営は大変][通信手段の確保]	5
	備蓄倉庫に備えたいもの	[医薬品・食料・毛布][緊急時の必要最低限の物資を学校にも備蓄しておきたい][内服薬を含む医療品]	5
	職員体制	[日頃から危機管理意識を強く持つ][病院への搬送や急病人の世話など救急隊のような役割を担った]	2
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[あらゆる想定のもとにつくる]	1
	地域ぐるみの準備	[指定避難所以外の学校への物資提供][備蓄倉庫の物品を学校でも把握しておく][環境衛生への対応][避難場所の周知][避難場所の確保]	6
	異動		0
	その他		0
その他	感謝	[他県や県内からの支援][同地区や他地区からの支援][大変だが子どもたちと一緒にがんばる]	4

(担当:菅澤)



南三陸教育事務所管内

このアンケートには18人が回答している。

壊滅的な被害を受け、避難所開設も多かったこの地区では【校内体制】のカテゴリーに多くのコードが集まっていた。〔緊急時の対応についての共通理解を図っておく〕など、協力体制を考える必要性を強く感じている様子がうかがえた。また、＜備蓄倉庫に備えたいもの＞に関するコードが多く〔避難所になっていなくても毛布の準備は必要〕や〔常に充実させておく必要がある〕と述べている。津波による被害を受けたり、気温の低さから人命を見守る場にいた、養護教諭の切実な訴えである。

また、壊滅的な被害を受けたこの地区に、多くの支援が寄せられたことについて〔周囲の方々によって支えられてきた〕「多方面からの様々な形の支援に感謝」など＜感謝＞のサブカテゴリーのコードも多く、人とのつながりの温かさが感じられた。

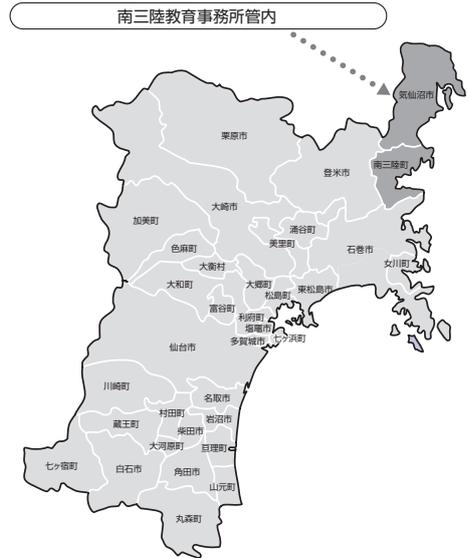


表 南三陸教育事務所管内(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと)

(18人回答 コード数52)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔普段行っていることの大切さをしみじみ感じた。備品管理・日常の健康観察等。そして、笑顔の大切さも〕	1
	実働に向けた準備	〔日常の健康観察をしっかりしておく〕〔機会を見て生徒の健康チェックを実施し、健康状態の把握。健康診断前・夏休み前・夏休み後〕	2
	知識やスキルの研修	〔心のケアの重要性〕	1
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔学校の電話やインターネットが不通状態になり、学校間の情報交換ができなかった。個人情報を守りながら、連絡網に携帯番号も入れた方が良くと思う〕	1
	養護教諭の支援体制	〔経験を今後生かしていく〕〔すべてが初めてだったので戸惑うことや悩むことが多くあったが、周囲の方々の励ましに支えられてなんとかここまでたどり着いた〕	2
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	〔常に対応について考えておく必要性〕	1
	誰でも分かるように配置・備品の明確化		0
	備品の整理・補充	〔衛生材料の備蓄が必要〕〔普段から備品整理をきちんとしていく〕〔衛生材料は余裕を持って準備しておく〕〔災害用物品は高階層にも常備すること〕	8
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	〔災害時の役割分担をしておく〕〔日頃から危機管理をきちんとしていく〕〔緊急時の対応についての共通理解を図っておく〕〔様々な状況を考えて対応を検討しておかなければならない〕〔子どもの命は守りたい〕	8

校内体制の整備	心のケア	[家族、そして家、友人を失った人の悲しみは計り知れない][児童・保護者・職員のための心のケアの支援の継続が必要だと感じる]	2
	避難所対応の準備	[避難所としての準備をしておくことが大事]	1
	備蓄倉庫に備えたいもの	[食糧][毛布][避難所になっていなくても毛布の備蓄は必要][水][布団][衣類][衛生品等][おむつ][救急バック][常に充実させておく必要がある][災害備蓄倉庫が必要]	12
	職員体制	[緊急時の対応について児童生徒に指導しておく][SCとの連携][防災教育の大切さ]	3
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[医療機関へ最も早く運搬する手順の確保(救急車・ヘリコプター等)]	1
	地域ぐるみの準備	[災害直後の行政と学校に役割分担][医療スタッフの人材名簿を作成][実際の緊急派遣][学校が再開することは保護者にとってもゆとりがうまれてくる][子供たちが安心した生活を送り元気になることが地域の活性にもつながっている]	5
	異動		0
	その他		0
その他	感謝	[ほかの学校からの養教の支援がありがたかった][多方面からの様々な形の支援に感謝][周囲の方々によって支えられてきた。][外部機関の協力が心強かった]	4

〈担当:花淵〉



七夕飾り制作3 和紙を折る

高等学校

154 コードの中で、6 割以上の 100 のコードがあったのは、【校内体制の整備】で、その中で一番多かったのは<（自然）災害危機管理体制>のサブカテゴリーで 34 コードあった。その中に、高等学校の特性だと思われる、〔帰宅困難者〕〔生徒の安全〕というコードが出てきた。高等学校は、自宅が広範囲にわたるため、帰宅させても大丈夫なのか、安全に帰れるのか、自宅までの交通手段は確保できているのか等の判断が重要である。今回は、ライフラインが断たれ、情報がうまく入ってこなかったために、津波の情報がわからないまま帰宅させた学校もあった。

そのためだろうと思われるが、二番目に多かったのは<備蓄倉庫に備えたいもの>のサブカテゴリーだった。〔水〕〔食料〕〔懐中電灯〕〔ラジオ〕〔毛布〕等のコードがあり、これらの物がある程度、備蓄されていれば、帰宅困難者の対応や避難所として、行政の手が入るまで頑張れるのではないかと考えられる。

これからは、高等学校も避難所になるということを想定して校内体制を整えていくことが必要である。

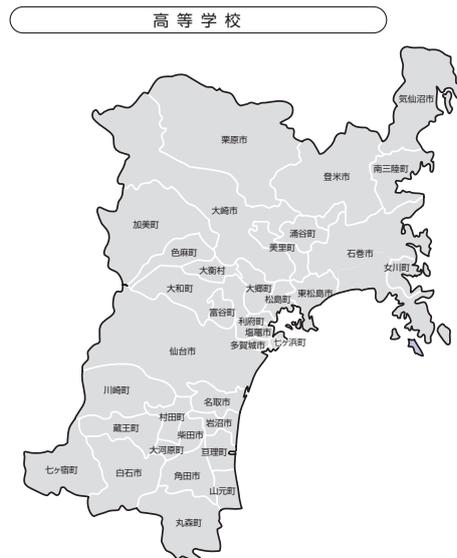


表 高等学校(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと)

(69人回答 コード数計154)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔養護の役割の記録〕〔養護教諭は看護師ではない〕〔保健関係全てのニーズに答えられるわけではありません〕〔自分ができるところまで！の線引きをすることも大事〕〔学校行事も養護教諭がどう考え意見を述べるべきか考えさせられた。体育行事だけが人続出〕〔避難所で医療スタッフとして期待されるのは少し違う（我々は教員ですから・・・）〕〔応急手当しかできません〕	7
	実働に向けた準備	〔救急バックは手にすぐとれる位置においておく〕〔備蓄品について、十分に検討して備えておきたい〕〔救急薬品の準備、定期確認〕	3
	知識やスキルの研修	〔保健室の役割について、研修会で学びたい〕〔心理面で生徒にどのように接するのがいいか研修する必要がある〕〔スクールカウンセラー〕〔その時期に見合ったカウンセリング〕〔被害を受けたことでの心理状況など多くの研修を重ねることで学びを得る〕	5
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔震災時の養護教諭として、学校が避難所となった場合、どのように行動したかみなさんのご意見、体験談を知りたい〕〔避難所となった学校の先生の体験はとても参考になった（保健室の使用について、トイレの使用法など）〕	2
	養護教諭の支援体制	〔今回大きな被害を受けた高校の養護教諭を支援する体制が少し遅かったし、もっと呼びかけた方がよかったのではないか〕	1
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	〔役割〕〔震災時の様々な場面で遭遇した問題点をしっかり検証〕〔保健室の機能についてのマニュアルを作っていきたい〕〔保健室の使用〕〔救護としての役割〕〔感染症〕	6
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	〔整理整頓〕〔表示の工夫〕	2
	備品の整理・補充	〔救急薬品〕〔衛生物品〕〔持ち出し用救急セットの内容、服薬（緊急用）の準備はどの程度必要か、迷っている〕〔救急用品類〕〔毛布〕〔湯たんぽ〕〔ホッカイロ〕〔救急袋（セット）〕〔必要な物の点検、再確認〕〔備蓄品〕〔マスク〕〔手指用消毒スプレー〕〔必要な物品の支援〕	16

災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室の耐震	[地震を意識し環境整備] [今回棚が倒れ、すぐには取れず、机上の救急用品入れを持ち出し対応]	2
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	[校内の救急体制の整備] [生徒の引き渡し、連絡体制(保護者、病院、交通機関など)を整えることが大切] [地震の際のマニュアルがあるにも関わらずまったくいかされなかった] [帰宅困難生徒への対応] [家具等の転倒防止のための固定等各学校、早急に行うべき] [通信機器以外の生徒+教師の安否確認方法] [救急車] [搬送] [災害状況把握] [防災に対して、常に意識した行動] [マニュアル(実践的な)] [夜間も授業があるため、停電で真暗になった場合の避難や状況把握の訓練をより実践的] [階段へ蛍光テープを貼る] [懐中電灯を各部屋、又は、授業に行く教員は携帯する(夜の授業)] [校内体制を現実的に考える(型だけのものではなく)] [避難訓練の活用] [学校施設の安全点検] [日常の安全も含めた安全教育] [校舎内の不要物の処分] [生徒の安全確保] [避難訓練はしっかり実施] [定時制なので、避難訓練も電気を消して実施] [震災時救護する側] [高校生は生徒であるが、震災時救助する側、支援する側になれる。教育が大切] [様々な場面での管理職や養教、その他職員がどのように動くべきなのか、マニュアルを見直しておく] [日頃からの防災訓練は大切] [情報の確認(携帯ラジオ等)] [非常時用の倉庫] [いろいろな場面での災害を想定した対応策を検討] [登校時、授業中、休憩中、放課後など。教員一人一人が対応できるように訓練(備蓄場所、備蓄内容の確認も含む)]	34
	心のケア	[転校生(地震、福島第一原発、津波による)の心のケアに目を向ける] [被災した生徒(家族含)への心身のケアの継続] [改めて、スクールカウンセラーの方の必要性を感じた]	3
	避難所対応の準備	[避難所に指定されなくても、必然的に人が集まってくるので、対策を練っておく必要がある] [防災グッズの準備が重要] [学校で災害時に必要な物品を総務部とPTAが相談し、準備] [停電時、早めに飲料水・トイレ用の水を出るうちに確保] [避難所の開設] [備蓄の確認] [避難所の訓練] [水のストック] [光源になるものの準備] [学校は地域の防災拠点を担っていく必要がある] [トイレの使用法] [飲料水等]	20
	備蓄倉庫に備えたもの	[食料の備蓄] [毛布の確保] [トイレ(凝固剤)] [マット、毛布等] [懐中電灯] [電力] [衛生材料] [飲料用、トイレ用の水] [懐中電灯] [乾パン] [防災用品] [携帯ラジオ] [医薬品等]	30
	職員体制	[教職員間の連携が重要なことが確認] [先生方の行動記録(感じたこと)をまとめる] [普段からの職員とのコミュニケーションは大切] [役割確認] [記録] [懐中電灯を携帯(夜間)] [携帯電話を身につける(夜間)] [協力体制] [組織的] [体制の見直し]	11
	管理職の考え		0
	その他	[遺体安置所は、学校には、絶対設置すべきではない] [健康安全な生活空間を作るための環境づくりと自治活動のあり方の基本は合宿等の体験]	2
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[学校に地域の方は避難してくるので、災害対策について、県立学校でも市町村と対策を協議しておくことが必要] [市の保健師との情報交換] [役割の確認・記録・マニュアル(心のケアだけでなく実践的な)]	3
	地域ぐるみの準備	[当事者は地震津波の被害の災害状況把握ができないなど、今後の対策に課題がいっぱい] [常に意識した行動が必要・地域との関わり] [地域とのつながり(連携)を持っておくことも大切] [予知情報] [避難所用の物資は配備されているか。行政の担当は?等] [近くの病院の方々が避難してこられたので、医師が常駐していたため、安心ができた] [障害のある方がいたり、いろいろなケースに対応するため協力していただける方々と力を合わせて、避難所を運営]	7
	異動		0
	その他		0
その他	その他		0

(担当:早坂)

特別支援学校

特別支援学校では、【校内体制の整備】で、＜災害危機管理体制＞がコード数9と多く、特別支援学校ならではの校内体制の整備を挙げている。まず、〔医療機器使用者の緊急時のシミュレーションをしながら、安全な電気の供給ができるようにしておくことの必要性〕、〔想定外の事態が起きた時、優先順位を考えながら行動できるように行動トレーニングをしておくことの必要性〕、〔子供たちの常備薬の3日間分の校内保管の実施〕など医療的ケアを必要とする子供たちが重篤な事態に陥らないように準備しておくことの必要性が挙げられている。【災害時に保健室の機能を最大限に生かす】では、〔保健室物品の整理〕、〔物品の所在場所の把握〕、〔薬品や栄養剤等の備蓄〕、〔予備薬の備蓄〕があった。【地域の防災対策を充実】では、＜地域ぐるみの準備＞として、〔避難所での障害児の理解と対応〕があり、子どもたちが避難所生活をしなければならない時に、障害を理解してもらうことやその子どもにあった対応してもらうことが重要であると述べられていた。また、特別支援学校のある地域では、〔避難所開設にあたり、障害を理解し対応してもらうためのマニュアル作り〕も必要であると答えている。

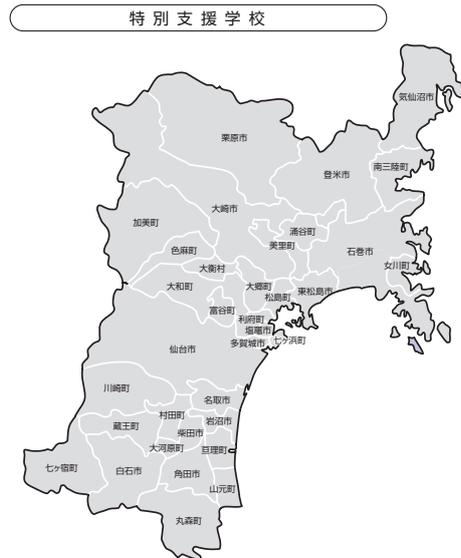


表 特別支援学校(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと)

(13人回答 コード数計18)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する		0
	実働に向けた準備		0
	知識やスキルの研修		0
	養護教諭同士の情報交換が必要		0
	養護教諭の支援体制		0
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持		0
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	〔保健室物品の整理〕〔物品の所在場所の把握〕	2
	備品の整理・補充	〔薬品の備蓄〕〔薬や栄養剤等の備蓄〕〔予備薬必要〕	3
	保健室の耐震		0
	その他		0

校内体制の整備	自然災害危機管理体制	[医療機器使用者への安全な電気の供給] [医療機器使用者の緊急時のシュミレーション] [児童生徒の常備薬を3日分学校で預かることが決定] [緊急対応マニュアルの見直し] [医療的ケアが必要な児童生徒への対応] [停電や休み時間など、いろいろな時間を想定しての避難訓練が必要] [震災の避難訓練] [想定外の事態の優先順位を考えた行動トレーニング] [緊急時のシュミレーション]	9
	心のケア		0
	避難所対応の準備		0
	備蓄倉庫に備えたいもの	[発電機を用意] [児童生徒と教職員のために災害時の備蓄の確保]	2
	職員体制		0
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[避難所での障害児の理解と対応]	1
	地域ぐるみの準備	[震災に備えるための備蓄品の予算の確保 (各校、PTAの予算でまかなっているのが現状)]	1
	異動		0
	その他		0
その他	その他		0

(担当:我妻)



七夕飾り制作4 和紙を揃える